

2015年6月5日 第62号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp



6. 4署名提出院内集会&議員要請

6月4日憲法共同センターは「止めよう！戦争法案 署名提出院内集会」を開催しました。開会あいさつを全日本民医連・木下事務局次長が行いました。

とりくみ交流日本医労連・三浦書記長は、「私たちは再び戦場の血で白衣を汚さない決意のもとで運動をすすめている」と黒衣と白衣のチラシや横断幕を各地で活用していることを紹介しました。新日本婦人の会・高橋副会長は、「各地で宣伝署名にとりくむと元自衛官からも反対の声が寄せられる」と報告。静岡県商工団体連合会・大石会長は、「平和でなければ商売はできない」と語り戦争法案の危険を分かりやすく解説する4コマ漫画を載せた全国商工新聞を紹介しました。東京革新懇・今井事務局長は「地域で総がかり行動実行委員会をつくるなど党派を超えた共同が広がってきている」と発言。埼玉憲法会議・渡辺事務局長は「オール埼玉総行動」について「実行委員会を重ねるごと共同が広がり、マスコミから注目され、会場カンパも256万円集まった」ことなど熱気にあふれた集会について報告しました。



集会には東京土建から80人など、首都圏から220人が駆けつけました。参加者は、戦争法案反対、憲法改悪反対など14万2679人分の署名を日本共産党の国会議員に手渡しました。

日本共産党からは、本村伸子、池内さおり、梅村さえこ、大平喜信、藤野保史、清水忠史、真島省三の各衆院議員、田村智子参院議員が駆けつけました。代表して本村議員は「与党はたった80時間での審議で国民の知らないうちに法案を通そうとしている。月曜日までには22時間審議したことになる。後方支援について、戦闘準備しているアメリカ軍の戦闘機に空中給油できるということが盛り込まれている。

防衛省に『武力行使と一体ではないのか』と問うと、役人は『ここが戦闘地域だとするとその真上は非戦闘地域。だから違反じゃない』といった。イラク戦争の時は、地元愛知の小牧基地が戦争のために利用され悔しい思いをした。被爆二世としてこんな法案は許せない。特別委員会45人のうち、自民党28人、公明党4人、絶対反対派の共産党2人、民主党9人、今国会の成立反対派の維新4人。32対9~13の構図になっていて国会だけでは勝つことは難しい…。しかし、反対世論が8割にもなっている。国民の



みなさんと手をつなぎ、空前の規模とスピードで戦争廃案に追い込むため全力でがんばる」と述べました。

行動提起を全労連・盛本常任幹事が行い、憲法会議・平井事務局長が閉会のあいさつをしました。集会後、特別委員と政党幹部への要請を行いました。

全国から届いたティッシュ署名も提出

憲法共同センターのティッシュ署名、これまでに長野、愛知、静岡、青森、富山、北海道、宮城、埼玉、神奈川、兵庫、和歌山など全国各地から、わざわざ82円切手を貼って送ってきてくれました。たくさんの想いのこもった39人分の署名も国会に提出しました。



毎週木曜「国会前行動」3回目 1400人が参加



6月4日18:30から戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会主催の「とめよう!戦争法案 国会前木曜連続行動」(3回目)が行われました。集会への参加者は、1回目は850人、2回目は1100人と回を追うごとにどんどん増えています。3回目の今回はなんと1400人が参加しました。

思い思いのプラカードを掲げ、「憲法破壊 絶対反対」と怒りのコールを行いました。憲法共同センター事務局にも「集会に参加したい・・・」と一般の方からの問い合わせが寄せられています。

戦争法案 自民党推薦の参考人も「憲法違反」

4日の衆院憲法審査会で、「立憲主義」をテーマに招致された参考人の憲法学者3氏がそろって、集団的自衛権行使を可能にする戦争法案について「憲法に違反する」との認識を表明しました。早大の長谷部恭男(やすお)教授、笹田栄司(えいじ)教授、慶応大の小林節(せつ)名誉教授3氏。参考人は審査会幹事会で各党が協議して決めたもの。与党も含めて合意した参考人全員が違憲の判断を示したことで、戦争法案の違憲性がより鮮明になりました。

長谷部氏は「集団的自衛権が許されるという点は憲法違反だ。従来の政府見解の基本的な論理の枠内では説明がつかないし、法的安定性を大きく揺るがす」と表明しました。

小林氏は「憲法9条2項で軍隊と交戦権は与えられていない。9条をそのままに、仲間を助けるために海外に戦争に行くというのは、憲法9条、とりわけ2項違反だ」と述べました。

笹田氏は、従来の政府の憲法解釈は「ガラス細工だが、ギリギリのところで保ってきている。今の定義では(それを)踏み越えてしまったので違憲だ」と述べました。

日本共産党の大平喜信議員が、集団的自衛権行使容認の閣議決定、戦争法案の国会提出を強行した安倍内閣の政治姿勢についてただと、長谷部氏は「立憲主義にもとる」と述べました。

大平氏が、戦争法案によって自衛隊の「後方支援」活動が武力行使と一体化する危険を指摘。長谷部氏は「武力行使との一体化が生じる恐れが極めて高くなる」と述べ、小林氏は「一体化そのものだ」と強調しました。

都内9カ所一斉「9の日」宣伝のお知らせ

【日時】6月9日(火)17:00~18:00

【場所】9カ所のうち、憲法共同センターは◆新宿駅東口◆新宿駅南口◆西新橋一丁目交差点でとりくみます。

【主催】戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

【配置】新宿駅東口(全労連と全労連加盟単産)新宿駅南口(憲法・東京共同センター、全教)西新橋一丁目交差点(民医連、国公労連、憲法共同センター構成団体)

★個人の方はお近くの宣伝場所にご参加ください。

6月「9の日」行動 都内9カ所で一斉宣伝!

STOP「戦争法案」



憲法共同センター
★新宿駅東口★新宿駅南口
★新橋(西新橋一丁目交差点)

6月9日(火)17:00~18:00

主催:戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

5月15日、自民・公明両党は、国民の反戦や不安の声を無視し、集団的自衛権の行使を具体化する「戦争法案」を閣議決定しました。そして、29日衆議院本会議で審議を強行。9月には安全保障特別委員会を組織することを狙っています。

6月は都がかり行動実行委員会主催で、都内9カ所で「9の日」行動を開催します。さらに「戦争法案反対」の旗幟を掲げるため、大きく成功させましょう。ご参加お願いします。

戦争させない1000人委員会
(眞横、有楽町、御茶ノ水)

解散で9条を壊すな!実行委員会
(渋谷、上野広小路、池袋東口)